



コバトン&さいたまっち



病虫害防除情報

令和元年 7月26日

埼玉県病虫害防除所

1 情報名 チャの炭疽病、輪斑病、チャノミドリヒメヨコバイについて

2 情報内容

(1) 気象要因等について

7月25日に気象庁が発表した季節予報によれば、関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は、平年より高い確率50%、降水量は、平年並の確率40%となっています。

(2) 炭疽病

本病は、糸状菌（カビ）が原因で起こるチャの代表的な病気です。これから秋期にかけて病葉が増加するので注意が必要です。発病すると落葉あるいは葉枯れにより樹勢が衰え、翌年以降の生産に影響を及ぼします。

本病は、茶芽の開葉期に雨が多いと感染しやすくなり、発生が多くなります。

また、「さやまかおり」、「やぶきた」、「こまかげ」、「ふくみどり」などは本病に弱いので特に注意が必要です。

窒素質肥料の多用をさけつつ、天候が回復次第防除しましょう。



炭疽病の発病葉

(3) 輪斑病

本病は、摘採や整枝の際に生じた傷口や害虫の食痕から病原菌が侵入して感染します。気温が高いほど発生程度が高くなるため、二番茶摘採後に発生が多くなり、多発茶園では、8月中旬以降に新梢枯死症が発生しやすくなります。

なお、「やぶきた」及び「さやまみどり」は、本病に感染しやすいので特に注意が必要です。

整枝後できるだけ早く（当日～1日後）に表1を参考に薬剤を散布します。また、新梢枯死症の防除は、夏芽（三番茶）の萌芽期～二葉展開期に、薬剤を散布しましょう。



輪斑病の病斑



新梢枯死症

表1 炭疽病、輪斑病の共通防除薬剤例

薬 剤 名	F R A C コード	使用時期	使用 回数
オンリーワンフロアブル*	3	摘採7日前まで	2
ダコニール1000	M05	摘採10日前まで	1
アミスター20フロアブル	11	摘採14日前まで	3
フロンサイドSC	29	摘採14日前まで	1

(使用基準は令和元年7月24日現在)

* 炭疽病および新梢枯死症に登録がある。

(4) チャノミドリヒメヨコバイ

本虫は、幼虫、成虫ともに新梢の葉裏に生息し吸汁加害するため、葉脈が褐変します。加害が多いと新芽が萎縮し、葉の一部が褐変枯死するため、来春の収量に影響します。

本年は発生が多い状態が続いているので、発生が多く認められる園では、早急に防除しましょう。



チャノミドリヒメヨコバイの成虫
(雌成虫：体長約3mm)



チャノミドリヒメヨコバイによる
被害葉 (葉の一部が褐変枯死)

表2 チャノミドリヒメヨコバイの防除薬剤例

薬 剤 名	I R A C コード	使用時期	使用 回数
エンセダン乳剤	1 B	最終摘採後～萌芽前まで 但し、摘採60日前まで	1
MR. ジョーカー水和剤	3 A	摘採21日前まで	2
コルト顆粒水和剤	9 B	摘採7日前まで	2
アプロードエースフロアブル	1 6 2 1 A	摘採14日前まで	2
ウララDF	2 9	摘採7日前まで	1

(使用基準は令和元年7月24日現在)

3 I R A Cコード及びF R A Cコードの記載について

病害虫の薬剤抵抗性発現防止の観点から、I R A C（世界農薬工業連盟殺虫剤抵抗性対策委員会）及びF R A C（同連盟殺菌剤耐性対策委員会）の農薬有効成分作用機構分類コードを記載しています。

農薬工業会ホームページ <http://www.jcpa.or.jp/lab0/mechanism.html>

<農薬使用上の注意事項>

- 1 農薬は、ラベルの記載内容を必ず守って使用する。
- 2 剤の使用回数、成分毎の総使用回数、使用量及び希釈倍数は使用の都度確認する。特に、蚕や魚に対して影響の強い農薬など、使用上注意を要する薬剤を用いる場合は、周辺への危被害防止対策に万全を期すること。
- 3 農薬を散布するときは、農薬が周辺に飛散しないよう注意する。
- 4 周辺の住民に配慮し、農薬使用の前に周知徹底する。
- 5 農薬の最新情報は、埼玉県農産物安全課ホームページをご覧ください。

<http://www.pref.saitama.lg.jp/a0907/nouann/saishintourokujouhou.html?mode=preview>

※ 埼玉県農薬危害防止運動実施中！（令和元年5月1日～8月31日）

問い合わせ先 埼玉県病害虫防除所 TEL：048-539-0661